

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年10月03日

計画の名称	益田市における下水道事業の推進													
計画の期間	平成 3 1 年度 ~ 令和 0 5 年度 (5年間)											重点配分対象の該当	○	
交付対象	益田市													
計画の目標	下水道未普及地域の解消により、快適な生活環境の創出と良好な水環境の保全を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（ A + B + C + D ）		1,301	A	1,300	B	0	C	1	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	0.07	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H31当初）		（R5末）
1	下水道処理人口普及率を7.1％（H31）から10.0％（R5）に増加			
	行政区域内の総人口に占める下水道処理区域内人口の割合	7%	%	10%
	下水道処理人口普及率＝（下水道処理人口）／（行政人口）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	益田市	直接	益田市	管渠（ 汚水）	新設	管渠整備事業（益田処理 区）	汚水管 150～250mm L=4, 900m	益田市	■	■	■	■	■	920		-	
	A07-002	下水道	一般	益田市	直接	益田市	終末処 理場	新設	施設整備事業（益田水質 管理センター）	水処理処理能力 1,700m3/日	益田市			■	■	■	380		-	
												小計						1,300		
												合計						1,300		

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	C07-001	下水道	一般	益田市	直接	益田市	-	-	カラーマンホール蓋の設置	カラーマンホール蓋の設置 N=10箇所	益田市		■	■	■	■	1	-		
		カラーマンホール蓋の設置を行い、下水道のイメージアップや、下水道への関心及び理解を得ることにより、整備後の接続率向上が期待できる。																		
												小計						1		
												合計						1		
		C07-																		

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

益田市において評価を行い確定

事後評価の実施時期

令和7年9月

公表の方法

益田市のホームページで公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

下水道の未整備地区における整備を進めたことで、下水道処理人口普及率の増加につながった。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

カラーマンホール蓋を設置したことで、下水道のPRにつながった。

○ 特記事項（今後の方針等）

引き続き、下水道未普及の解消により、快適な生活環境の創出と良好な水環境の保全に努める。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率 = （下水道処理人口） / （行政人口）		
	最 終 目標値	10%	
	最 終 実績値	10%	